

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【公開番号】特開2009-234996(P2009-234996A)

【公開日】平成21年10月15日(2009.10.15)

【年通号数】公開・登録公報2009-041

【出願番号】特願2008-83932(P2008-83932)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 K 8/35 (2006.01)

A 6 1 K 8/895 (2006.01)

A 6 1 Q 17/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/49

A 6 1 K 8/37

A 6 1 K 8/35

A 6 1 K 8/895

A 6 1 Q 17/04

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月7日(2010.5.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記式(I)のベンゾトリアゾール型紫外線吸収剤と、油溶性紫外線吸収剤とを含有する日焼け止め水中油型乳化化粧料において、

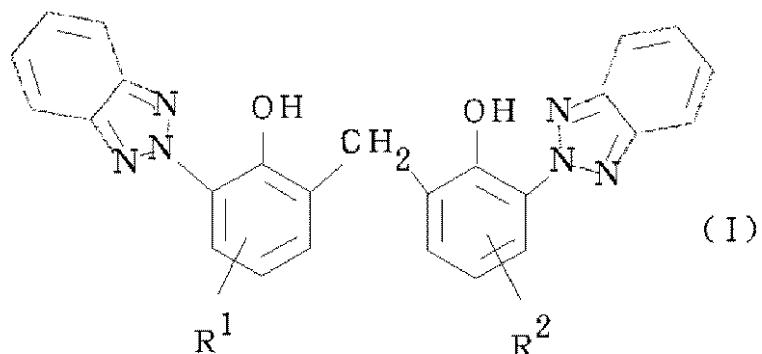
(1)油分の含有量が20~40質量%であり、

(2)下記式(I)のベンゾトリアゾール型紫外線吸収剤の含有量が1~10質量%であり、

(3)オクチルメトキシシンナメート、オクトクリレン、t-ブチルメトキシジベンゾイルメタンからなる三種の油溶性紫外線吸収剤を含有し、

(4)前記三種の油溶性紫外線吸収剤の含有量が10~20質量%であることを特徴とする日焼け止め水中油型乳化化粧料。

## 【化1】



[式中、R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>は、同一でも異なってもよく、炭素原子数が1～4のアルキル基、同5～12のシクロアルキル基、及び、アリール基から選ばれる1又は2以上の基で置換されていることがある、炭素原子数が1～18のアルキル基である]

## 【請求項2】

前記ベンゾトリアゾール型紫外線吸収剤である式(I)において、R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>が、1,1,3,3-テトラメチルブチル基であることを特徴とする請求項1記載の日焼け止め水中油型乳化化粧料。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

すなわち、本発明は、下記式(I)のベンゾトリアゾール型紫外線吸収剤と、油溶性紫外線吸収剤とを含有する日焼け止め水中油型乳化化粧料において、

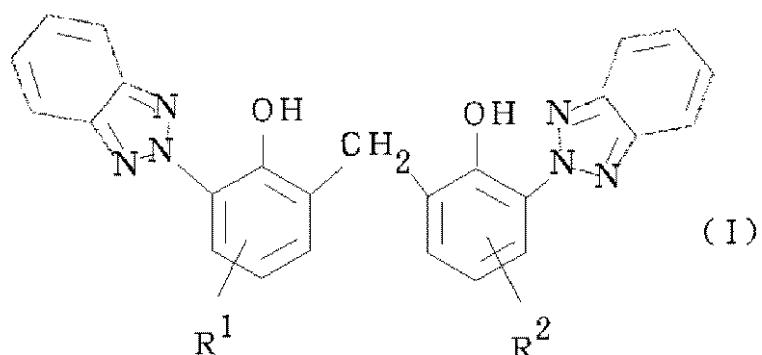
(1)油分の含有量が20～40質量%であり、

(2)下記式(I)のベンゾトリアゾール型紫外線吸収剤の含有量が1～10質量%であり、

(3)オクチルメトキシシンナメート、オクトクリレン、t-ブチルメトキシジベンゾイルメタンからなる三種の油溶性紫外線吸収剤を含有し、

(4)前記三種の油溶性紫外線吸収剤の含有量が10～20質量%であることを特徴とする日焼け止め水中油型乳化化粧料を提供するものである。

## 【化1】



[式中、R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>は、同一でも異なってもよく、炭素原子数が1～4のアルキル基、同5～12のシクロアルキル基、及び、アリール基から選ばれる1又は2以上の基で置換さ

れていることがある、炭素原子数が1～18のアルキル基である】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】